

小さな水族館 アクアリウム

今、注目を集めている「アクアリウム」。流木、石、岩、水草などを使って自然を模した独自の世界をつくり、楽しんでいられる方が増えています。

アクアリウムをつくる時、まず考えたいのがテーマ。どのような自然を表現するかによって、風景に合った魚、水草が変わります。

「アマゾン川」をイメージして作り上げたり、松に似た水草や砂、岩で「枯山水」を表現したりと創造性豊か。中には、水槽に魚を入れずにその世界観を鑑賞する方もいるそうです。

購入するのは水槽、ヒーター、水草、水草専用の砂、循環用のフィルターなど。基本的な用品一式をそろえて1万円〜3万円程度で始められます。

この夏、小さな水族館づくりにチャレンジしてみませんか？

観賞用の魚は熱帯が原産のものが多いため、水温は25〜26度をキープ。水温、水質の急変は魚や水草にダメージを与えるため、週1回、3分の1程度ずつ水を交換しましょう。まず、水槽の中にポンプを入れ、3分の1程度の水を吸い上げて、捨けます。捨てた分ぐらいの水道水をバケツのため、水質調整剤を入れ、かき混ぜます。その後ゆっくりと水を水槽に戻して交換完了です。



▲マジックリーフ(枯れ葉)を水槽に入れることで、色や水質をアマゾン川のイメージに。

取材協力

ペッツママ鎌田店

福島市鎌田字下釜8-1

TEL 024(553)5900